

## 行政評価委員会・市民参加ワークショップの役割と位置づけ

### 行政評価委員会について

市の施策・事業等を第三者の視点で評価する札幌市の附属機関で、市役所外部の専門家から構成されています。

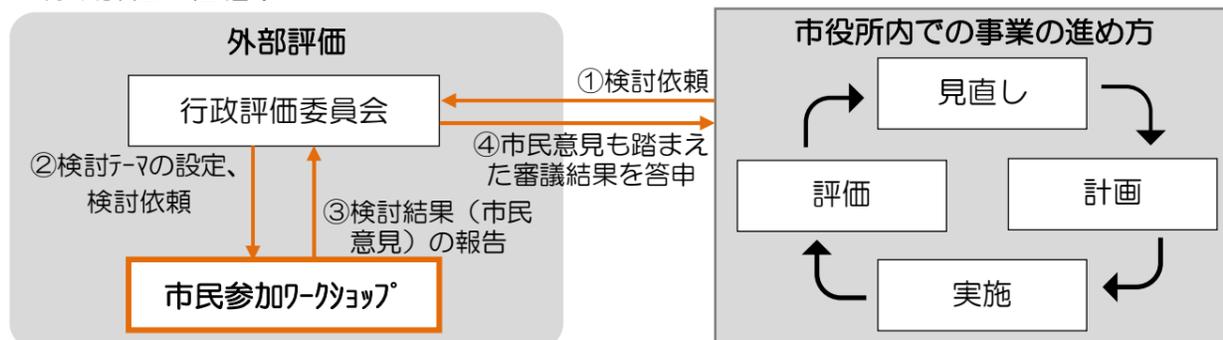
札幌市が行う事業の必要性や効果、課題や改善策について審議し、行政では気づかない点を評価するのがその役割です。評価の結果は、事業の見直し・改善に活用されます。

### 市民参加ワークショップについて

行政評価委員会で審議するテーマの中から、特に市民生活と関わりが深く、**市民目線・市民感覚**で議論することが必要と考えられるテーマについて、**市民の方々からご意見をお聞きするために実施するものです。**

**市民ワークショップで出された意見は、行政評価委員会での審議に活用されます。**

#### ■行政評価の仕組み



## 行政評価 市民参加ワークショップにおける検討テーマ選定理由

地球温暖化が原因と言われている大雨による洪水被害、炎暑が日本各地で起こっており、世界でも異常気象によるさまざまな災害が生じています。

地球温暖化の主な原因は、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）をはじめとする温室効果ガスの排出量増加であるとされており、CO<sub>2</sub>をなるべく出さない脱炭素社会を実現することは、世界共通の目標です。

このような状況を踏まえ、札幌市では「環境首都・札幌」を掲げ、2030年にはCO<sub>2</sub>をはじめとする温室効果ガスの排出量を1990年比で25%削減するという目標を設定しています。

また、札幌は国内の他の都市と比べ、市民生活・企業活動における冬期間のエネルギー使用量が多いことなどからCO<sub>2</sub>排出量が大変多いまちであり、CO<sub>2</sub>排出削減のためには、市民・企業による取組が不可欠です。

このような観点を踏まえ、札幌市行政評価委員会では、市民ワークショップで検討いただくテーマとして「**市民・企業による CO<sub>2</sub> 削減の取組の推進**」を設定いたしました。

## 市民参加ワークショップについて

### ご検討いただくこと

検討テーマ「**市民・企業による CO<sub>2</sub> 削減の取組の推進**」に則り、次のことについてご意見をいただきたいと思っております。

第1回ワークショップ（8月25日〔土〕）：

**市民・企業による CO<sub>2</sub> 削減に関する課題の提起・抽出**

第2回ワークショップ（9月9日〔日〕）：

**課題を解決するために、市民・企業・行政はどのような取組を行うべきか**

### 第1回ワークショップまでにお願しいたいこと

#### 1. 本説明資料をよくお読みください

ワークショップでは、説明や質疑応答の時間はなるべく短くして、皆様からアイデア・ご意見をいただく時間を長くとりたいと考えています。そのため**お送りした資料を事前によくお読み頂きますようお願いいたします。**

#### 2. 「希望サブテーマ・事前質問 調査票」をお送りください

同封した「希望サブテーマ・事前質問 調査票」に下記を記入の上、**8月20日（月）までに到着するようご返信ください。**

① 検討いただくに当たって、いくつかのサブテーマごとにグループを分けます。**どのサブテーマについて検討したいかをお書きください。**

② 検討テーマや札幌市の取組、行政評価、ワークショップについて**ご質問・疑問点があればお寄せください。**第1回ワークショップにて回答します。

#### 3. ワークショップテーマについてお考えください

ワークショップがより活発に行われるよう、お時間がありましたら、「**市民・企業が CO<sub>2</sub> 削減に取り組むに当たっての課題や、CO<sub>2</sub> 削減のために行うべき工夫**」について、**ご自身が感じられる「課題」などをお考えいただければ幸いです。**事前質問票でお送りいただく必要はございません。

### ワークショップの進め方

- ご参加の皆様には5~6名程度のグループに分かれていただき、専門のテーブルファシリテーター（司会者）の司会・進行により、話し合いを行っていただきます。
- 模造紙やふせん、シールなどを使った作業を通じて、気軽な雰囲気の中、話し合いを進め

## 地球温暖化の現状

### 地球温暖化とは

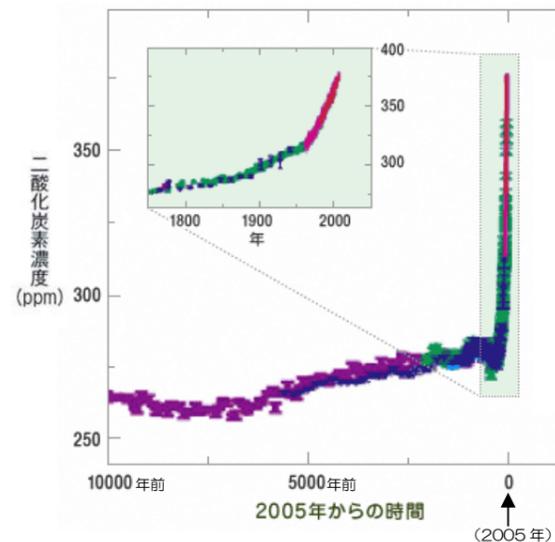
- 人間の活動により、大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスが増加し、地球全体の気温が上昇する現象のことです。
- これにより、大気や海洋の平均温度の上昇、気候変動が引き起こされると考えられています。



資料：全国地球温暖化防止活動推進センター

### 地球温暖化の主な原因である二酸化炭素濃度の上昇

- 地球温暖化の主な原因となる温室効果ガスには、さまざまな種類がありますが、その中でも二酸化炭素は最も排出量が多いことから、影響度が大きい温室効果ガスです。
- 主に化石燃料の消費によって発生し、約 200 年前の産業革命以降、急激に濃度が上昇しています。



資料：気候変動に関する政府間パネル第4次評価報告書第1作業部会報告書より作成

## 地球温暖化の影響

### 世界的な影響

- 地球温暖化は、我々の生活基盤を根底から脅かすような変化を地球規模で引き起こすと言われています。
- 早期に十分な対策を講じなければ、人類を含むあらゆる生物は甚大な被害を受けることになってしまいます。



### 日本における影響

- 地球温暖化による影響は、日本でも表面化してきており、下図のようなさまざまな問題が生じています。
- また、集中豪雨やゲリラ豪雨、竜巻など、極端な気象・気候も増加しており、これまでの治水・利水計画の基準や計画の考え方などが見直されつつあります。



### 世界・我が国における対策

- このような状況を踏まえ、2015（平成 27）年、気候変動枠組条約に加盟する 196 国により「パリ協定」が採択されました。「パリ協定」では、世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して+2 度未満に抑えることなどが掲げられています。
- 我が国においても 2016(平成 28)年に「地球温暖化対策計画」を策定しました。2030（平成 42）年度までに 2013（平成 25）年度比で温室効果ガス排出を 26%削減する中期目標を掲げています。

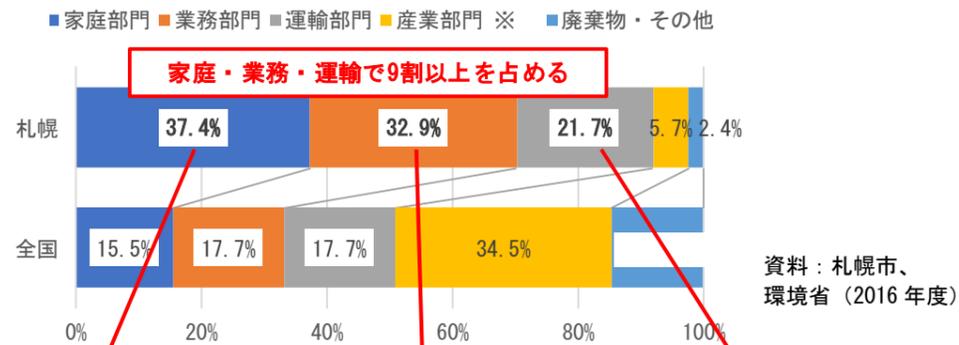
## 札幌の CO<sub>2</sub> 排出量の現状

### 二酸化炭素の部門別排出量の比較

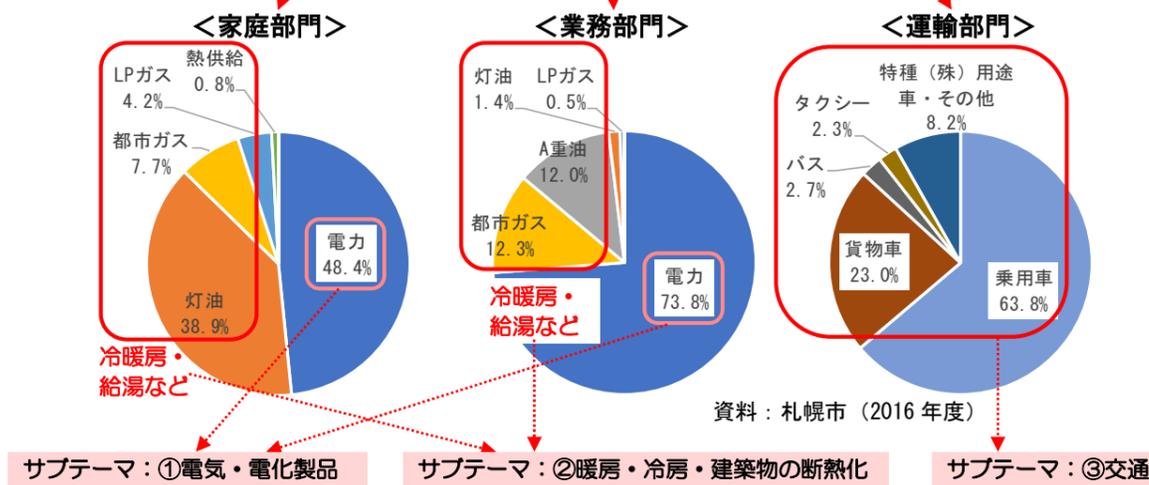
- 札幌の二酸化炭素排出量は、全国と比較して家庭・業務・運輸部門※の割合が高く、これら3部門で約9割を占めています。
- 家庭・業務部門では**電力と暖冷房・給湯など**、運輸部門では**乗用車**の割合が高くなっており、これらに関する対策が必要です。

(※「業務部門」は事務所・店舗等、「運輸部門」は自家用車等も含む交通機関、「産業部門」は農林水産業・鉱工業における排出量です)

#### ■札幌・国における二酸化炭素排出量の部門別割合

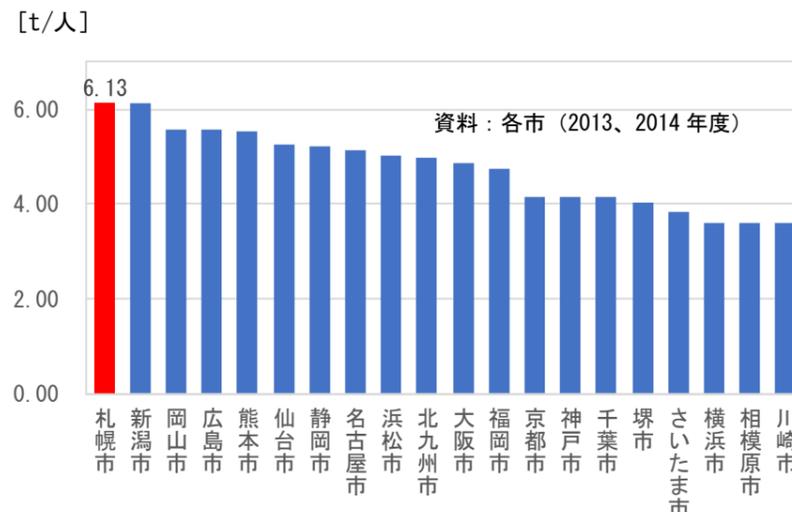


#### ■札幌における各部門の二酸化炭素排出量の内訳



### 他都市との家庭・業務・運輸部門の二酸化炭素排出量の比較（人1人あたり）

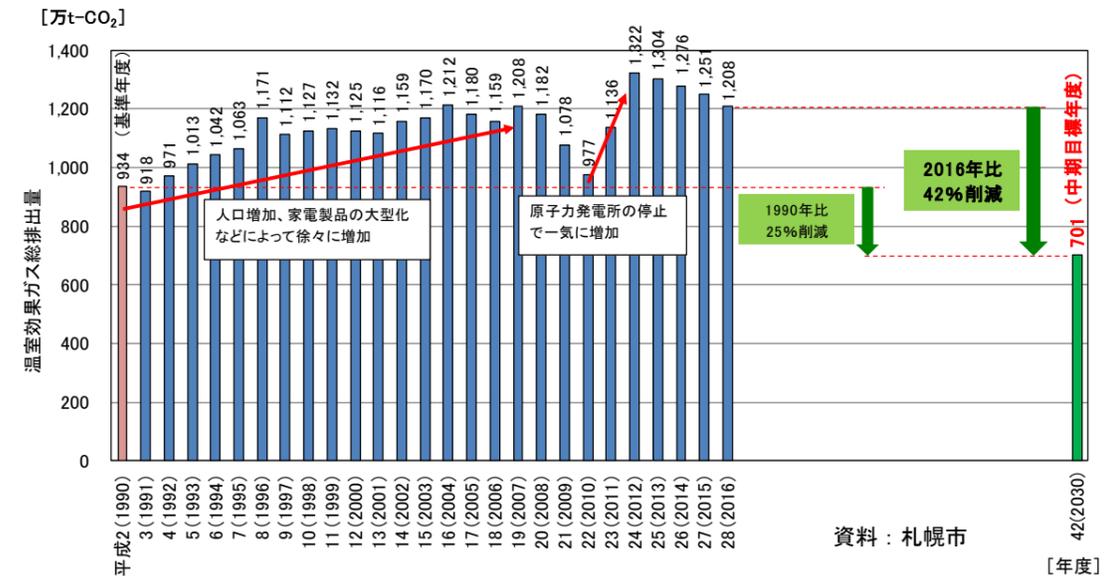
- 家庭・業務・運輸部門の二酸化炭素排出量を政令指定都市間で比較すると、札幌市は一人あたり排出量で 6.13 トンと、一番多くなっています。
- 原因としては、積雪寒冷地であるため冬季の暖房使用が多いこと等が考えられ、札幌市における二酸化炭素排出量の削減には、**市民一人ひとりの取組が重要**です。



## 札幌の CO<sub>2</sub> 排出量の推移と目標

### 札幌の温室効果ガス排出量の推移と目標

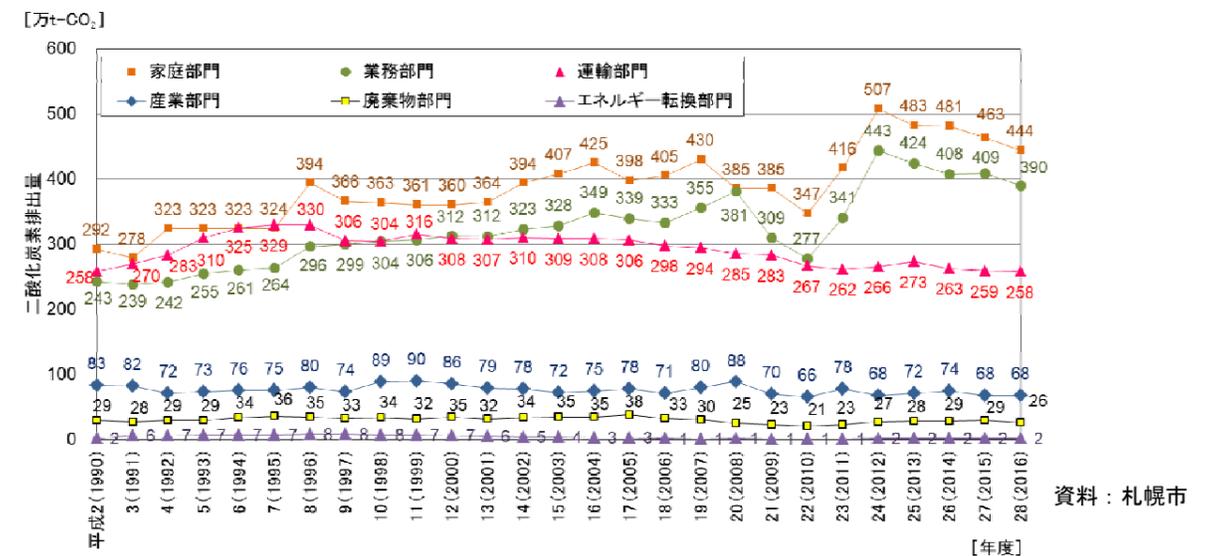
- 札幌の温室効果ガスの総排出量は、1990年以降、概ね増加傾向で推移しています。
- 札幌市では二酸化炭素排出量を 1990年比で 25%削減する目標を掲げていますが、そのためには最新の 2016年比で 42%削減する必要があります。



### 各部門の二酸化炭素排出量の推移

- 家庭・業務部門は人口や世帯数、店舗面積などに伴い、概ね増加傾向にあります。
- 一方、運輸部門は減少傾向にあります。これは、次世代自動車や低燃費車、エコドライブ※などの普及によるものだと考えられます。

(※「エコドライブ」とは、自動車の穏やかな発進・停止、アイドリングストップといった環境に優しい運転方法のことです。自動車の利用を減らすことを含む場合もあります)



このページでご説明した状況を踏まえ、下記サブテーマに分かれて話し合ってください！  
 ①電気・電化製品      ②暖房・冷房・建築物の断熱化      ③交通

## (参考) 札幌市による「市民・企業による CO<sub>2</sub> 削減の取組」を推進するための主な事業等

### 札幌市による取組の方針

札幌市では 2018 (平成 30) 年 3 月「第 2 次札幌市環境基本計画」を策定しました。この中で「市民・企業による CO<sub>2</sub> 削減の取組」に関連して、次のような「施策の方向」を打ち出しています。

#### ①徹底した省エネルギー対策の推進

- ・冬季の暖房エネルギー消費量を減らすため、住宅・建築物の高断熱・高気密化、省エネルギー設備の導入、そのための普及啓発を進めます。
- ・自動車から公共交通機関への転換、次世代自動車の普及を進めます。

#### ②再生可能エネルギーの導入促進

- ・太陽光発電、風力発電、小水力発電、木質バイオマス※の利用など、道内の資源等を活用した再生可能エネルギーの導入を促進します。

(※「木質バイオマス」とは樹木由来の資源のこと。使われない枝や葉、端材、廃材等を指します)

#### ③水素エネルギーの活用

- ・水素を燃料とする燃料電池の普及に向けて取り組みます。

### 札幌市による主な事業

上述した取組方針などを踏まえて札幌市はさまざまな事業を行っています。主な事業を市民参加ワークショップのサブテーマごとに整理しました。

#### ①電気・電化製品…に関して

さっぽろスマートライフ推進事業	ムダなく、かしこく、省エネ・節電を楽しむライフスタイルの啓発、家庭のエネルギー使用状況を診断する「うちエコ診断」など、市民に対する各種普及啓発を行います。
電力見える化プロジェクト事業	市有施設の効率的なエネルギー利用の促進・節電の取組強化のため、使用電力を監視する装置を設置し、電力の見える化を実施します。
環境マネジメントシステム事業	市内の環境負荷低減を目指し、市役所において、環境保全の取組を継続的に改善する仕組み(環境マネジメントシステム)を運用するほか、事業者への環境配慮活動の支援を実施します。
LED街路灯推進事業	街路灯の老朽化に伴う建替え時に LED 灯具を設置します。
太陽光発電システム修繕事業	学校における設置後 10 年以上経過した太陽光発電システムについて、計画的な機器の更新を行います。
図書館照明 LED 化事業	市有施設である図書館の消費電力節減のため、閲覧室及び書庫等の照明を LED 化します。

#### ②暖房・冷房・建築物の断熱化…に関して

さっぽろスマートライフ推進事業	(再掲、上述)
建築物環境配慮推進事業	建築物から排出される CO <sub>2</sub> を削減するため、札幌市建築物環境配慮制度に基づく環境性能評価ソフト「CASBEE 札幌」の普及啓発を進め、環境性能の高い建物の設計を促進します。

#### ②暖房・冷房・建築物の断熱化…に関して(続き)

高断熱・高気密住宅普及促進事業	住宅の省エネルギー化を促進するため、高断熱・高気密住宅の基準である「札幌版次世代住宅基準」に適合する住宅の建築主に対して建築費の一部を補助するなどの取組を行っています。
環境マネジメントシステム事業	(再掲、上述)

#### ③交通…に関して

エコドライブ活動定着推進事業	各種講習会の開催や運転解析機器の貸出し、運転シミュレーターを用いたエコドライブ体験会などを実施することで、市民・事業者へエコドライブの実践・定着を図ります。
次世代自動車導入促進事業	CO <sub>2</sub> 排出量が少ない次世代自動車(電気自動車、燃料電池自動車等)への乗換を促進するため、次世代自動車の購入費用の補助、水素ステーション導入への補助等を行います。
公共交通ネットワーク確保対策事業	乗合バス路線維持に係る補助のほか、地域の特性に応じた効率的で使いやすい地域公共交通体系の在り方について検討します。

#### ④全般・普及啓発、その他

温暖化対策推進事業	平成 27 年 3 月に策定した札幌市温暖化対策推進計画に基づき、市内における温室効果ガス排出量の算定や、市民・事業者に対する意識調査の実施など、温暖化対策に向けた取組の進行管理を行います。
札幌市環境プラザ情報発信機能強化事業	札幌市環境プラザにおいて、より実践的な学習内容となるよう展示物を更新し、情報発信力の強化を図ります。
総合的環境教育推進事業	次世代を担う子どもたちを主対象に、エコ行動をチェックできるチェック表「エコライフレポート」の配布、かんきょうみらいカップ・さっぽろこども環境コンテストの実施、環境関連施設見学用バスの貸出などを実施、環境教育を進めます。
札幌版省エネ社会実現事業	積雪寒冷地・札幌ならではの省エネ技術をビジネスの現場で活用できる高い技術を持った事業者・技術者を育成します。

さらに、札幌市による CO<sub>2</sub> 削減に関する取り組みについて知りたい場合は、下記ウェブページ等をご覧ください。

- ・第 2 次札幌市環境基本計画：  
<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/keikaku/newkeikaku/newindex.html>
- ・札幌市温暖化対策推進計画：  
<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/newplan/index.html>
- ・エコライフの推進：[http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/ecolife\\_suishin/](http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/ecolife_suishin/)
- ・環境教育：[http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo\\_kyoiku/](http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/)

ワークショップでは、これらの札幌市による事業も頭に置きつつ、各サブテーマに分かれ、「市民・企業による CO<sub>2</sub> 削減の課題・工夫」「それらを実施するためにどのような取組を行うべきか」についてご意見をいただきたいと思っております！よろしくお願いいたします！